

交通バリアフリー教室の開催状況（令和元年度）

（１）趣旨・目的

高齢者や障害者などの自立と社会参加の要請へ適切に対応し、高齢者や障害者などが公共交通機関を円滑に利用できるようにするため、社会全体での施設整備（ハード面の施策）に加え、実際に高齢者や障害者への手助けをしやすい環境づくり（ソフト面の施策）を進めることも必要です。

このソフト面の施策のひとつとして「交通バリアフリー教室」の実施が挙げられます。これにご参加いただくことにより、国民一人ひとりが、高齢者や障害者などの実生活での困難な体験を傾聴するとともに、これらの方々に対する介助を体験し、交通バリアフリーについて理解を深め、福祉・ボランティアに関する意識を醸成して、誰もが高齢者や障害者などに対して自然に快く手助けできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

（２）交通バリアフリー教室の実施状況

中部運輸局管内における「交通バリアフリー教室」の開催実績は、平成14年度から令和元年度までの合計で261回、20,300名余りの方にご参加いただき、「心のバリアフリー」の普及促進に向けた啓発活動を行いました。

年 度	開催回数	参 加 人 数	年 度	開催回数	参 加 人 数
平成 14 年度	2 回	62 人	平成 23 年度	29 回	3,272 人
平成 15 年度	3 回	101 人	平成 24 年度	21 回	1,474 人
平成 16 年度	4 回	226 人	平成 25 年度	19 回	1,414 人
平成 17 年度	8 回	291 人	平成 26 年度	14 回	1,707 人
平成 18 年度	19 回	1,139 人	平成 27 年度	11 回	987 人
平成 19 年度	20 回	1,201 人	平成 28 年度	10 回	1,270 人
平成 20 年度	23 回	1,892 人	平成 29 年度	7 回	652 人
平成 21 年度	18 回	1,252 人	平成 30 年度	15 回	723 人
平成 22 年度	29 回	1,976 人	令和元年度	9 回	718 人

（３）実施概要

中部運輸局管内において令和元年度に実施した「バリアフリー教室」は、管内で合計９回開催し、合計７１８名の方々にご参加いただきました。その一部をご紹介します。

開催日程：令和元年１１月１２日（火）
開催場所：国営木曽三川公園 木曽三川公園センター
主 催：中部運輸局（交通政策部消費者行政・情報課）
協 力：中部地方整備局 木曽川下流河川事務所
一般財団法人公園財団 木曽三川公園管理センター

参 加 者：木曽三川公園近隣市町村
（岐阜県海津市・愛知県弥富市・愛西市・津島市）
木曽三川公園管理センター職員
木曽川下流河川事務所職員 21名

運輸局では、高齢者や障害者などの自立と社会参加が可能な共生社会の実現に向け、「バリアフリー教室」を開催しています。今回は、これまでも施設内の取組を進めている木曽三川公園にて、車いすの自操・介助体験行い、身体機能の衰えや障害への理解を通じ、バリアフリーマインドの醸成を図りました。

【木曽三川公園内で車いすの自操・介助体験】



開催日程：令和元年11月20日（水）
開催場所：三島市立山田小学校・校舎内及び体育館等
主催：静岡運輸支局
三島市
社会福祉法人 三島市社会福祉協議会
協力：三島市身体障害者福祉会
株式会社 東海バスオレンジシャトル
静岡トヨタ自動車 株式会社
参加者：小学校4年生 74名

参加者は、視覚障害者の杉山さんからの講話を傾聴し、アイマスク体験・車いす体験・福祉車両体験・バス乗降体験をすることにより、障害者の苦労を体験し、これを緩和するユニバーサルデザインについても学びました。参加者は「今回の体験を通じて、初めて分かったことがあった」という感想を持っていました。

【視覚障害者の杉山さんと盲導犬】



【段差や悪路を介助】



【福祉車両乗降体験やUDの理解】



【福祉バス乗降体験】



開催日程：令和元年9月 1日（日）、 9月29日（日）
10月15日（火）、11月17日（日）

主 催：岐阜運輸支局

開催場所：開催日順に大垣市・高山市・中津川市・岐阜市

参加者：約360名

路線バス等を普段から利用しない場合、経路等の運行情報に疎く、紙面上での時刻表だけでは情報量の都合により、調べられる経路等のも限界があるために、公共交通機関として利用しにくいという声が散見されます。

一方、技術の進歩の結果、地図アプリや乗り換えアプリにより、経路検索が可能になっていますが、利用者の知識やスキルが追いついていないことが指摘されており、全ての利用者の利便性向上に向けた取り組みが必要です。

そこで、既にIT技術で公共交通の経路や時刻等が検索できる地域において、「経路検索体験ブース」を出展し、タブレット端末により、一般の方に地図アプリや乗り換えアプリを使った経路検索を体験してもらいました。

また、高齢者や視覚障害者の方が見やすい紙面の時刻表や案内板など、情報のバリアフリーの現行の取組を周知し、ポスターの掲示とバリアフリーに関するリーフレットの配付を行いました。

主催者側として、高齢者や障害者が目的地に着いたあとの移動等が困難にならないように、アプリ等でバス停などの目的地を検索したときに、勾配や高低差等も表記できれば良いとの感想を持ちました。

【デジタル機器で公共交通の経路や時刻等の検索を体験】



＜来訪者の主な感想等＞

- ・地図アプリでバスの経路検索ができるとは知らなかった。
- ・コミュニティバスも経路検索に対応してほしい。
- ・「お知らせ」で運行状況について確認できるとは知らなかった。
- ・荒天等で電車が遅延した場合の運行状況や、工事等による臨時停留所もについて「お知らせ」に記載してほしい。

開催日程：令和元年10月31日（木）
開催場所：坂井市加戸小学校
主 催：福井運輸支局
協 力：社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会
京福バス 株式会社
公益社団法人 福井県バス協会
参 加 者：小学校4年生 21名

参加者は、バリアフリーについて説明を受けて、以下の3コースを班に分かれて体験をしました。

- ・高齢者体験：（文字記入、硬貨取り出し、階段歩行、雑巾がけ）
- ・車いす体験：（段差体験、ボール拾い、カラーコーン及びマットを使用した障害のある通路の走行）
- ・バス乗降体験：（バスのバリアフリー設備等について説明、車いすを使用したバス乗降）

【高齢者体験】



【車いす体験・バス乗降体験】



＜参加者の感想の概要＞

- ・車いすに乗っている人が驚かないように、慎重に押してあげないといけない。
- ・バスの設備にはスロープがあり工夫されていて、車いすの人でも乗降りでき、誰でも利用できるようになっている。
- ・もし機会があれば、丁寧にお手伝いをしたいと思いました。